

# 元気な街 はむら! とみまつたかしの議会報告

富 松 崇

議会内会派：新政会市民クラブ  
住所：羽村市羽東2-3-6  
発行：とみまつたかし後援会



早いもので議員となり2年が経ちました。最初の1年は議会に慣れることから始まり、毎日が勉強でした。2年目に入り議会の流れもひと通り経験させていただきましたので、今度はどのように結果を出していくのかを考え活動させていただきました。3年目となる今年からは10年後、20年後、将来の羽村を考え、現役世代の代表としてみんなが元気で安心して暮らせる街を実現するためにさまざまな議員活動に取り組んでまいります。

## 平成25年第1回3月定例会での一般質問

### ◇ 次世代に羽村のまちづくりを引き継ぐために

質問 市で設置している各審議会の年齢構成は。

市長 38機関、平均年齢は59歳となっており、年代別構成は、20歳代が3人、30歳代が7人、40歳代が61人、50歳代が119人、60歳代が145人、70歳代が68人、80歳代が7人となっている。

質問 市政世論調査で市政への参加・協働意向で参加をためらっている、わからないが上位を占めているが市ではどのように考えているか。

市長 若者の市民参画に対する意識と関心の低下が顕著になってきているものと捉えている。多様な市民参画の推進を図る観点から、若者の意見を聴く機会として、若者フォーラムの開催に向けて、平成25年度に実行委員会を設置し、準備を進めていく。また、引き続き、大学との連携により若者の視点を取り入れた事業を展開していく考えである。

質問 これからの街づくりを考える中で今後、中心となっていく現役世代の方に市政への興味・感心を持ってもらい積極的に参画してもらおう事が重要だと思うが市の考えは。

市長 市政への理解を深め市民参画を促進していくためには多様な媒体を活用した分かりやすい情報発信が重要であり、広報広聴活動の充実に向けて検討を進めていく考えである。

質問 これから街づくりを引き継ぐ次世代の人材を育てていく事も重要だと思うが市の考えは。

市長 羽村の発展を考えた場合、次世代に引き継ぐ施策を展開していくことは、市の重要な責務であると捉えている。